

平成26年度第4回(12月度)

理事会報告・運営会議報告

理事会 議事

2014年12月5日に平成26年度第4回理事会・運営会議が理事14名、監事1名と2名の理事代理の方の出席のもと「音の日」イベント会場 目黒 雅叙園「シグナス」の間で開催されました。

1. 第1号議案：理事交代の承認を求める件

パナソニック(株)の理事交代(岡内氏から小川氏)及び、シャープ(株)の理事交代(小田氏から阿部氏)が申請通りに承認されました。

副会長会社であるパナソニック(株)の理事交代に伴い、小川理事の副会長就任が申請通りに承認されました。

2. 第2号議案：新会員の承認を求める件

平成26年第3回(9月)理事会以降、平成26年12月4日までの間に入会申請のあった、法人正会員4社、並びに、個人正会員2名の入会が申請通り承認されました。今回入会承認された法人正会員4社は下記に通りです。

- ・(株)ニューオプト：本業は医療機器メーカーですが、高品位なヘッドホンアンプを自社設計し、技術的に優れたメーカーです。
- ・(株)ECスタイル：台湾のDUNU・TOPSOUND社のヘッドホンの輸入代理店。良質なヘッドホンを国内に紹介しています。
- ・オリンパスイメージング(株)：光学機器メーカーですが、PCMレコーダーを自社設計。生録会への参画等、協会活動への貢献実績もあります。
- ・QUALIA JAPAN(株)：米国のINDIGO社の国内法人ですが、欧州のハイエンド商品の扱っ

ております。

各社共、協会のハイレゾオーディオへの取り組みに賛同しての入会であり、ハイレゾ対応商品を通してオーディオの普及啓発活動への貢献が期待されます。

運営会議 議事

1. 新規職員採用の件：

ハイレゾロゴ運用等、協会事務局業務の増加に伴い、新規職員として元ソニーの照井 和彦氏の採用(12月1日付け)が会長より報告されました。

2. 音展報告と来期の考え方：

始めに校條会長より昨年10月に開催された今期の音展報告が下記の通りされました。

- ・来場者数20,200名、出展社数92社と共に昨年を上回った。また、満足度は来場者、出展社共に80%前後と、現会場「タイム24」での展示会の充実は図れたと判断。
- ・今後の課題は、イベント数の増加で全体の把握が難しくなり、今後イベントの整理統合が必要。また、今回、展示スペースを3階にも広げたが、それでも、参加を断ったケースがあり、今後は出展スペースの確保が大きな課題となる。

続いて、来年度の方向性として、昨年と同じ「タイム24」を会場として2015年10月16-18日の会期予定での開催が提案されました。今後、展示スペース拡大検討も含め準備作業を進めますが、次回2月の理事会にて最終確認を行う予定です。

3. ハイレゾロゴ進捗報告

始めに事務局より、昨年6月12日の「ハイレゾオーディオの取組み」発表以降、ハイレゾオーディオに関する問い合わせが多く寄せられ、ハイレゾロゴ使用を目的とした新規入会法人が6社と、「ハイレゾオーディオの取組み」への反響が大きいことが報告されました。

次に、ハイレゾオーディオの普及拡大を目的に、米国家電協会（CEA）とのパートナーシップ契約を締結する旨が報告されました。なお、米国家電協会とのパートナーシップ契約に関しては下記、ニュースリリースをご参照ください。

<http://www.jas-audio.or.jp/news/post2022>